



ビデオメッセージを作成配信中

ブラジリアの風



14才の誕生日を迎えた次男湧希

時が良くても悪くても

「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。」

Ⅱ テモテ4:2

ブラジル宣教のためにいつも尊いお祈りとおささげものを賜り心から感謝申し上げます。

首都ブラジリアは、3月中旬の外出自粛令から1ヶ月半が過ぎますが、新型コロナウイルスはサンパウロの大都市を中心に未だ急増傾向にあります。5月2日現在で感染者数は中国を抜いて9万人超、死者数は6千人を超えました。

4月30日からは外出時のマスク着用が義務化となっているブラジリアですが、徐々にいろいろな店が再開しているのも事実で、人命優先か経済優先かという単純な議論が成り立たない複雑な現状です。ポウソナ口大統領は自ら率先して外出し、外出自粛を唱える保健相は解任し、州知事には激しい批判を浴びせるという政治の混乱も見られます。

日本と同様、教育も大きな課題です。私立学校の多くは自宅でのオンライン授業を始めていますが、公立学校に通う多くの貧しい子どもたちは、インターネットを使うための機器やWi-Fi（ワイファイ）環境を持っておらず、対応が遅れています。

私たちの教会もオンライン礼拝を守っていますが、いつ礼拝堂に戻れるかは未だわかりません。日本語学校の授業も各教師がパソコンやアプリを駆使してオンライン授業を継続しています。日系一世の方々への訪問や集会は自粛し、現在は日本語のビデオメッセージを作成して毎週配信しています。みことばが心に残るように字幕もつけています（左上段写真）。多くの高齢者は携帯電話を持っていないので、ご家族の協力を得て一緒に動画を見ていただいています。それが良き証しの機会ともなっています。

先日は、日本のブラジル人集会に集う子どもたちのために日本語のメッセージをとの要請を受け、喜んで作成し送らせていただきました。「何もできな



4月30日から外出時はマスクが義務化

い」と思える状況のなかでも、意外な方法やアイデアによって宣教の道が開かれていくことを経験しています。

「時が良くても悪くてもしっかりやりなさい」と若き伝道者テモテを鼓舞したパウロの言葉が響きます。非常時だからこそ、自分の取り継ぐ説教や働きの真価が試されているようにも感じます。みことばを受け取るお一人おひとりの心が神ご自身に向けられ、神からの慰めと平安、永遠のいのちの喜びと希望に満たされることを祈りつつ、語り続けたいと願っています。

感謝の報告と祈りのお願い

・新型コロナウイルスが猛威を振っているブラジルにあって、家族や教会の歩みが守られていることは感謝。引き続き、健康と働きが守られるように。

・混迷するブラジルの政治経済、医療崩壊の危機にある病院、子どもたちの教育を担う学校のために。

・コロナ禍が収束に向かい世界が癒されるように。また主を信じる者が増し加えられるように。

非常事態の続く日本の皆さまの上にも、主の守りと助けが豊かにありますように切にお祈り申し上げます。

2020.5.2

浜田献、陽子

「浜田宣教師指定」
献金者一覧(2020年3-4月)

相馬キリスト福音教会、新船橋キリスト教会、豊田神池キリスト教会、くずは聖書教会、蛭池聖書教会、新津福音キリスト教会、安城中央キリスト教会、石神井福音教会、愛宕山教会、総和キリスト教会、光の森聖書教会、竹内豪・里子、鞭木由行、松戸福音教会、波崎キリスト教会、矢作キリスト教会、播磨キリスト教会、生駒めぐみ教会、今田和子（敬称略）

(3-4月合計) **274,130円**
累計: 433,550円

【2020年目標額:160万円】
*コロナ禍での尊いご献金をありがとうございます。